

## 四谷の

# 千枚田だより



第 132 号

て用地・資材  
提供、労力奉  
仕など惜し  
みなく尽く  
し、誉れ高い

## あと二年足らずで 学校が無くなっちゃう

連谷小学校は明治五年、身平橋村白山神社に第二十八番小学身平橋学校として開校。その後、四谷学校、谷合学校などと改称、明治三十二年連谷尋常小学校、昭和二十二年に現在の連谷小学校となった。

開校百四十四年間地域と共に幾多の変遷を刻み、地域の核を担った小学校も時勢の波に打ち勝てず、本年四名、閉校時には三名の児童となり、閉校となる。

新城市北部地域における本校、海老小、鳳来西小、鳳来寺小の四校が統合、平成二十八年四月から「新城市立鳳来寺小学校」として発足する。往時を思えば全校児童百六く七十名が字別に分かれ徒競争、騎馬戦また、連合対四谷の二つに分かれた綱引き、帽子取り、玉入れ等々、華やかに競ったことなどが偲ばれる。学校建設、改築、寄贈など諸事業においても地域住民、各自が率先し

「連谷魂」を確立した。地域ぐるみの絆は地域の宝、新城市、愛知県の顔として知名度を挙げた「四谷の千枚田」の保全継承が最も証でもある。と言っても過言ではない。

町村合併、機構改革等、都市中心型の行政のあおりを受け、各種公共機関（農協支所、消防詰所、保育園）が次々と消えて無くなった。確かに少子化で人口密度は低迷の一途を辿っているが人の暮らす原点（田舎）を物の尺度で判断することはいかなることかと思うが・・・間違いであろうか。いずれにしても、最後の核としての学校が無くなることは寂しい限りである。

### 閉校に向けて

閉校に向けて記念事業実行委員会が組織され、閉校に向けての事業検討が始まりました。

実行委員の紹介

- 委員長 夏目宏一（四谷区長）
- 副委員長 前澤昭一（連合区長）
- 記念誌部会 ・小山舜二 丸山悖志 村雲伸一 山本忍
- 記念式典部会 ・小山泰弘 古田

久夫 内藤勲

○記念行事部会 ・原田英寿 林

義明 小山典生

○庶務会計・斎藤美佐男 竹内信彦

金子紗和

### 校区の皆さんにお願い

百四十余年、校区の住民と共に歩んだ連谷地区・小学校の変遷をふんだんに盛り込んだ閉校記念誌を発行したいと望んでいます。

例・「俺んとうが入学した時は皆んな着物だった」とか、「女の子は丸鬘だった」。「女の先生はモンペだった」。「給食はクジラや脱脂粉乳だった」等々、時代を思い起こすような情報提供をお願いします。  
(舜)まで

千枚田はいつ見ても見飽きない

四季折々、春夏秋冬、訪れる人々に油断なく癒しを提供し続けている。二十三年前、十年前までは先祖の遺産として「あるもんで、作らにやあ、しょんない」の思いが年間二万人も「タダ」で観に来るようになってしまったむんで、あんまり「ぶしょつたい」姿を見せるわけにもいかんちゅう百姓の気持ちで、嫌々ながらも年に六く七回も畔草刈りをする・・・わしもあんたも毎日「草刈太郎」だのん。

大勢来るが、「大変だネエ」とはたまにやあ聞くが、「手伝う」ちゅうことは一回も聞いた事はないが、あんた、あるかん。#3333



## 野外宿泊体験学習

七月二十五日～二十六日の二日間、鳳来寺小・海老小・連谷小の三年生以上の児童三十名による、野外宿泊体験学習が行われました。



今年には連谷小が担当校であり、本校周辺において活動を行いました。午前中は、千枚田を守る会会長の小山舜二さんを講師にお迎えし、千枚田ハイキングを行いました。

千枚田の歴史、そこに生息する生き物、人々の努力等々、小山さんの実践に基づいた豊富な知識に、子供達も先生達も聞き入りました。千枚田最上端のふれあい広場まで約二時間、猛暑の中を元気よく歩ききり

ました。

全国に誇れる鳳来地区の千枚田、子どもたちの心にしっかりと刻まれたことと思います。

二日目は連谷明老クラブの方々に講師に伝承遊び教室を行いました。昔の遊び(あやとり・お手玉遊び・折り紙遊び・紙飛行機作り・輪回し・竹とんぼ)を明老クラブの方々と身近なものを使って工夫して遊ぶ楽しさを味わうことができました。

## 納涼盆踊り

〈連谷小ホームページより転載〉



八月九日(土)、連谷公民館・コミュニティ主催の盆踊りが連谷小学校体育館で開かれた。

当日は台風十一号が四国へ上陸しようか、どうせようか迷っている最中、三重県では東海地方初めての大雨特別警報が発令。でも、今のところ傘はいらない状態である。

参加者には「くじ引き」、「金魚すくい」また、焼き肉、焼そばも大人気であった。手踊りは「音頭だし」の地唄に踊り手が「返す」昔ながらの盆踊りで、住民、児童はもとより中・高校生も参加、伝承を交えた楽しい雰囲気味わった。

## 伝承行事「念仏踊り」

身平橋組に伝わる盆行事「念仏踊り」は、室町時代頃に発祥したと云われる市指定無形民俗文化財の盆踊りで、中老衆の「四遍念仏」と若い衆の「はね込み」の組み合わせによる精霊供養の盆行事である。

八月十三日には海源寺で本尊様の供養を行い、翌十四日には小山孝夫(初盆)宅の庭受けで行われた。

最大の見せ場である「はねこみ」は「提げ太鼓」と別称されているように、下駄履きにそろいの浴衣姿の若い衆が笛の拍子、鉦の音に合わせ片手に太鼓を提げ、片手にバチで、太鼓の皮と縁を交互に打ち鳴らしながらはね込む演技は勇壮で感動的である。

手踊りは、お施主から酒や肴など

の接待を受け、若い衆や中老衆の音頭出しで老若男女が入り交じって先祖供養をした。



引き庭は、「笛」を合図に入り庭同様、「はね込み」を行い、輪づくりをして高張りを持った若い衆を先頭に、中老衆、若い衆と列を整えて初盆宅の親戚縁者が見送る中、庭から肅々と引くその様は瞥えようのないほど、寂しさを感じた。

## 今後の予定

・八月十九日、テレビ東京取材  
・八月三十一日、鳳来寺山自然科学博物館主催「生きもの・地形地質」

行 平成二十六年八月二十日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二